読売 教育ネットワーク

社会はまるごと学校――
すべての大人が先生です

横浜市立白幡小学校で行われた土曜塾の「なかよし英語」の授業。子どもたちから、どんどん手があがる（詳細は2・3面）

巻頭特集 **PTA人脈で世界と交流** 2･3
横浜市立白幡小PTAの取り組み

シンポジウム「本屋に行こう」 4･5

リポート **西南学院大で読書教養講座** 6
為末大氏講演「アスリートと言葉」

学校×企業 晃華学園×日本科学協会　大阪学芸中×セブン-イレブン　7･8

リレーエッセー 9　中高生新聞が世界新聞協会賞受賞／高校ビブリオ開幕　10

2015.7
Vol.7

PTA人脈で世界と交流

横浜市立白幡小PTAの取り組み

1952年に創設された「読売教育賞」の第64回の募集が始まった。教育賞は、教科別部門のほか、生徒指導、学校づくりなどの部門から毎年優れた業績をあげた教育者、教育団体を顕彰し、創造性に富む教育環境づくりを推進してきた。昨年の受賞者の中から、横浜市立白幡小学校（永池啓子校長、児童数676人）を舞台に「学校づくり」部門で最優秀賞に輝いた藤川優さんの取り組みを紹介する。（教育ネットワーク事務局・佐藤伸）

第63回読売教育賞「学校づくり」部門で最優秀賞の前白幡小PTA会長・藤川優さん（中央）は、今も学校に足を運ぶ（白幡小・土曜塾で）

「Can I have your name?」（お名前は？）

「What is your favorite subject?」（好きな科目は何？）

7月4日、土曜日の午前。横浜市神奈川区の市立白幡小学校の教室で、講師の松永秋男さん＝表紙写真ホワイトボード前＝が英語で質問すると、子どもたちが順番に前に来て答えていく。一人が終わり、松永さんが「次、やる人は？」と聞くと、どんどん手が上がり、次々に簡単な英会話が続いていく。

また別の教室では、普段の学校の宿題や、横浜市教育委員会の作っている国語、算数などの練習帳「はまっこ学習ドリル」をしている子どもたちがいる。

彼らの机をまわって歩いたり、質問に答えたりしていたのは、白幡小の近くにある神奈川大学や横浜高等教育専門学校で教職を目指している学生ボランティア11人だった。

地域が支える土曜塾

白幡小で希望する児童を対象に開いている土曜塾「なかよし英語」「読み・書き・算」のクラスの様子だ。

2009年に始まった土曜塾は、地域が学校を支援する組織「白幡小いちょうの会」が運営に当たっている。なかよし英語の講師、松永さんもその一人。自身、白幡小OBで、お孫さんも白幡小だ。そこで自ら校長に「学校のために手伝えることがあれば」と手紙を出したのがきっかけで得意な英語を生かした授業の講師をすることになった。

2007年に永池校長が白幡小に着任し、まず感じたのは「地域と学校の距離の遠さ」だった。

一方、当時PTA会長だった横田竜一さんは「学校は保守的で前例主義」と感じていた。学校は保護者と地域と教員が一体になって運営するもの、それで何かあったらPTAが責任を取る、とまで校長に伝えた。学校が地域やPTAを当てにしてくれれば、PTAはそれに応えていく、という意志の表明だった。

こうして基礎が整ってきた2011年、藤川優さんがPTA会長に就任した。創立75周年を迎える年だった。藤川さんは、従来10周年ごとの節目の年に行っていた記念行事を75周年でも、と学校、地域を説得。地域の掲示板にも75周年記念行事のポスターを貼った。「学校がこんなことをやっている、と地域に知ってほしかった。『子どもは地域の宝、学校は大いに地域の人に甘えましょう』という校長と協働し、社会総掛かりで学校を支援していきたい」と地域に呼びかけた。

3本柱の「環境」「グローバル」「創造する力」

この年春には、東日本大震災があったこともあり、「環境」を始め、「グローバル」「創造する力」を3本柱に学校教育をPTAが後押しする態勢を整えた。

その結果、『『閉鎖的である』と云われる学校に、子どもたちに視野を拡げ、感性を養い、個性を磨いてもらうべく、学校にPTA保護者の人脈や経験を活用し、積極的に〝社会〟を入れる教育を試みてきた結果、周囲の人たちの心を揺さぶり大きく動き出すことになった」（第63回読売教育賞受賞者論文集から）

学校に社会の風を入れるため、作曲家、日本画家、人間国宝の歌舞伎役者、コピーライター、デザイナー、外交官、五輪メダリスト、TVアナウンサー、園芸家などにPTA保護者の人脈や経験を生かして、交流や授業をしてもらう。

井上文太さんの協力

こうした交流授業がさらに大きく飛躍するきっかけとなったのは、NHKテレビの人形劇「シャーロック ホームズ」でパペットデザインと人形美術監修にあたった井上文太さんを招いての授業だった。

もともとは、とび箱の側面にイラストを描くことを通した教育プログラムを企画し、イラストレーターを探していた。藤川さんが井上さんの存在を知り打診すると、井上さん自身が教育に高い関心を持ち、東日本大震災で被災した子どもたちと一緒に絵を描く活動を展開していることがわかり、継続的に授業をしていただくよう要請、井上さんも快諾してくれた。

第1回目の授業は「愛」をテーマに色や形を想像して、「愛の形の魚」を描く美術。その半年後には、2回目の授業が行われ、二次元の「愛の形の魚」を三次元の立体物にすることになった。粘土で基盤を作った上に、海岸で拾ってきた貝殻などできれいに装飾するのだ。

土曜塾の読み・書き・算の教室では、地元の教職志望の学生が指導にあたる。

この授業で、鎌倉の由比ガ浜海岸に行き、貝殻、流木、石、砂を一生懸命集めたが、子どもたちは「貝殻より、少しの時間で拾ったごみの方が多くてびっくり」（同論文集から）した。

ロックフェラー氏の学校訪問実現

ここから環境を考える活動が始まった。そして井上さんが日本支部の理事を務める国際的海洋保護団体「セイラーズ・フォー・ザ・シー」（デイビッド・ロックフェラーJr.会長）に白幡小の取り組みを報告したことから、ロックフェラー会長が「海洋保護活動に対する認定書」授与のために同小まで訪問することとにつながった。

会長の訪問は、林文子横浜市長も同席する大々的な行事となったが、ここでも地域の人たちが活躍。土曜塾「なかよし英語」のボランティア講師たちの指導で、数人の子どもたちが海に関する学習活動を英語で説明。「これで英語を通じて外国の人とのコミュニケーションがとれることの楽しさ」（同論文集から）も体験できた。

やがて、こうした試みがきっかけとなって、横浜市の姉妹都市サンディエゴ（米国）の小学校との文通やテレビ会議による交流などに発展していった。

校内各所に学びの工夫

校内の廊下を歩くと、窓や柱には、晴れ、曇り、雨などのイラストともに、英語でなんと表現するのか、めくると正解が現れる掲示＝写真下＝がある。階段には算数に役立つポスターもある。図書室の前には「読書すごろく」など、校内各所に学ぶための工夫が凝らされている。

今は、PTA会長を退いた藤川さんだけでなく、他の地域の人たちもボランティアで毎週のように土曜塾に顔を出し、顔なじみの子どもたちと気軽にあいさつを交わす。

地域と学校の理想的なつながりがうかがえた。

第64回 読売教育賞 募集

意欲的な研究や創意あふれる指導に取り組んだ教育者や教育団体を顕彰する「第64回読売教育賞」（読売新聞社主催）の応募受け付けが8月1日から始まります。

募集部門は、国語教育、算数・数学教育、理科教育、社会科教育、生活科・総合学習、保健・体育の教育、外国語教育、児童生徒指導、教育カウンセリング、学校づくり、地域社会教育活動、幼児教育・保育、美術教育の計13分野です。

応募の締め切りは8月20日で、同日付の消印まで有効です。提出された実践報告書は、専門家らでつくる選考委員会で審査の上、各部門の最優秀賞と優秀賞を決定します。発表は10月下旬の読売新聞紙上で掲載します。最優秀賞には盾と副賞50万円、優秀賞には盾を贈ります。昨年まで春に募集してきましたが、今年から時期を変更し、応募しやすくしました。

詳しい募集要項は、読売教育賞サイトに掲載
http://info.yomiuri.co.jp/culture/kyoiku/
問い合わせ：読売新聞東京本社読売教育賞事務局
☎03・6739・6713（平日10：00～17：00）

シンポジウム「本屋に行こう」

本屋の魅力や存在意義を考える連続シンポジウム「本屋に行こう＠東京」（活字文化推進会議主催、読売新聞社主管）が7月9日、東京都千代田区の日本教育会館で開かれた。博報堂ケトル社長の嶋浩一郎さんの基調講演に続いて、作家の林真理子さん、紀伊国屋書店社長の高井昌史さん、全国高校ビブリオバトル優勝者の中村朱里さんが、思わぬ出会いを提供してくれる本屋への熱い思いを集まった約600人を前に語りあった。

本屋の魅力について意見を交わすパネリスト

基調講演に引き続いて行われたトークセッションでは、基調講演の嶋さんをコーディネーターに、林真理子さん、高井昌史さん、中村朱里さんが本屋の魅力を語った。

ページをめくる幸福感

嶋　本屋さんをこよなく愛されている林さんから本屋の魅力をお聞かせください。

林　家を買うときの条件は、駅前に本屋と喫茶店があることが条件でした。昼下がりに文庫本を15冊くらい買い込んで、隣の喫茶店でコーヒーを飲みながらページをめくる。この幸福感は本屋があってこそのものです。

嶋　山梨のご実家が本屋でしたね。

林　小さな店の片隅で本を読みながら店番をしていたという記憶があって、本屋を大切にしたいという気持ちは人一倍強いです。私の住む街の駅前に「幸福書房」という本屋さんがあります。作家として何かできることはないだろうかと考えて、私の本にはサインをするようにしたら、けっこう反響が大きいんです。ほかの作家の方にも「たまには店番したり、ハタキをかけたりしてみない」と声を掛けているのですが、なかなか実現しません。

嶋　林さんがハタキをかけていたらお客がびっくりしますね。（笑）。作家が一日店長でもいいから本屋に来てくれるのはうれしいです。

高井　本屋大賞の影響はあると思いますが、最近、作家がお店に足を運ぶことが多くなっています。文芸が今は非常に弱くなっていますから、サイン会やトークショーをやってくれるのはいいことじゃないでしょうか。

林真理子
はやし・まりこ
1954年山梨県生まれ。日本大学芸術学部卒。1986年「最終便に間に合えば」「京都まで」で直木賞。近作に「中島ハルコの恋愛相談室」

嶋　最近はネットで本を買う人が増えてきています。そんな中、あえて本屋に行く意味はどういうところにあるのでしょうか。

林　私の場合、本は中身を見ないと、買うか買わないか決められない。まず本を開いてみて、文字の並び方、漢字の割合、ひらがなの割合を確認しないと買えないです。

高井　じかに本を見たり、触ったり、歩き回ったりできるところでしょう。たとえば紀伊国屋の新宿店には120万冊の本があります。新刊コーナー、経済書コーナー、文庫コーナー……どこに行っても構わない。本好きには楽しい空間でしょう。

本屋への熱い思い語る

ハレの本屋、ケの本屋

林　私たちの年代だと、紀伊国屋の新宿店に行くというのは知の殿堂に入っていく感じですね。本屋さんには「ハレ」と「ケ」があると思っていて、紀伊国屋さんはハイヒールを履いて、おしゃれをして行く「ハレ」の本屋さん、幸福書房はサンダル履きで行く「ケ」の本屋さんみたいな感じでしょうか。

嶋　平日は地元の本屋、週末は紀伊国屋のような大型書店というように、本屋を選ぶというのはいいですね。高校生の書評合戦「ビブリオバトル」という大会で優勝した中村さんは校則で寄り道が禁止されていたから、友達に見張りを頼んで本屋に通っていたそうですね。

中村朱里
なかむら・あかり
日本大学三島高校3年生。1月に行われた書評合戦「第1回全国高校ビブリオバトル」で優勝。

本の匂い、店員さんとの会話

中村　店に入った瞬間、外の音が遠くに聞こえるような雰囲気とか、本の匂い、店員さんと、「この本面白いですよ」「今度、あの作家さんの新刊出ましたよ」というような会話が出来るところが、とても好きです。目当ての本がなくて、たまたま別の本を手に取ってみたら、面白くて、その作家が好きになることもあります。そういう出会いが本屋にはあると思います。

子どもの本を親の口座から

嶋　本屋の未来を考えて、何か提案はありますか。

林　偉くなる人はだいたい本が好きなんです。「子どもの時から本屋に行っていた、だけど、お金を払ったことはない、親が後から払ってくれていたのだ」と、書かれている自伝もあります。これはすごく重要なことだと思います。親御さんが書店と契約して、子どもの本は後で親の口座から引き落とすようなシステムを作ってみたらどうでしょうか。（会場から拍手）

高井昌史
たかい・まさし
1947年東京都生まれ。成蹊大学法学部卒。2008年から紀伊国屋書店代表取締役社長。著書に「本の力」。

学生による「ブックハンティング」

高井　最近、大学の図書館が、学生による「ブックハンティング」という試みをやっています。図書館員が本を集めても学生たちにはあまり読まれないから、学生に選書を任せるわけです。10人、20人で来店して、好きな本を買っていき、代金は大学が支払うわけです。それから中村さんが優勝したビブリオバトルですが、紀伊国屋書店も力を入れてきました。皆さん、ビブリオバトルはしないまでも、読んだ本を日常生活で自慢しあってほしいですね。

（シンポの詳報は、7月29日付の読売新聞に掲載されました）

基調講演　なぜ本屋に行くとアイデアが生まれるのか

嶋 浩一郎　しま・こういちろう
1968年東京都生まれ。博報堂ケトル代表取締役社長。上智大学法学部卒。博報堂入社。著書に「なぜ本屋に行くとアイデアが生まれるのか」。

3年前に会社の事業として、東京・下北沢に、ブックコーディネーターの内沼晋太郎君と一緒に「B&B」という名前の本屋を開業しました。街の本屋が閉店に追い込まれるケースが増えています。でも自分が住んでいる街の駅前に、自分の生活動線の中に、好奇心を刺激してくれる場所があるということは素敵なことだと思っています。どうすれば街の本屋がやっていけるのか、挑戦したくなったのです。

僕らの世代ではネットで本を買う人が増えています。僕自身もアマゾンで本を買うことはあります。クリックしたら、翌日に本が届き、便利だと思います。しかし、欲しいものしか探せないところが、ある意味デジタルの欠点ではないでしょうか。本との偶然の出会いを、街行く人の日常の中に生み出したい。恋人との待ち合わせのついでに、切ない恋を描いた小説に出会う場がリアル本屋なのです。

偶然の出会い 生む場

本屋に5分間滞在するだけで浴びる情報量というのは、とてつもないものです。僕の本屋は30坪で、7000冊しかありません。でも、恋愛小説もあれば、歴史の本もある、芝居や食の本もあるし、ワインやチーズの本もある。簡単に言えば、5分間で世界一周ができるのです。5分間で世界一周する体験はネットではできないはずです。

9月2日　本屋に行こう@大阪
追手門学院 大阪城スクエアで開催

連続シンポジウム「本屋に行こう」の第2弾は9月2日（水）、大阪市中央区大手前の追手門学院大阪城スクエアで行われます。活字文化推進会議主催、読売新聞社主管、追手門学院特別協力。

大阪出身の芥川賞作家、川上未映子（かわかみ・みえこ）さん、講談社第一事業局次長で「海賊と呼ばれた男」など話題の書籍を数多く手がけた加藤晴之（かとう・はるゆき）さん、元シンクロナイズドスイミング日本代表で大阪市中央区にある本屋、隆祥館店長二村知子（ふたむら・ともこ）さんが、出版界が直面している課題、魅力ある本屋はどうあるべきかなどについて本音トークを繰り広げます。コーディネーターは東京・下北沢でビールが飲める本屋として話題を呼んでいる「B&B」の経営者、内沼晋太郎（うちぬま・しんたろう）さん。午後6時30分開会。

聴講希望者は

①本屋に行こう大阪希望 ②郵便番号、住所 ③氏名、年齢 ④職業 ⑤電話番号

を明記し事務局までお申し込みください。締め切りは8月25日、定員400人。
※応募者多数の場合は抽選、聴講券の発送をもって発表に代えます。

●はがき　〒100-8055（住所不要） 読売新聞東京本社 活字文化推進会議事務局
●ファクス　03・3217・4309
●メール　katsuji@yomiuri.com
【問い合わせ】 同事務局　☎03・3217・1486（平日10:00～17:00）

西南学院大で読書教養講座

為末 大氏講演
「アスリートと言葉」

読書の魅力を伝える「読書教養講座」（西南学院大、活字文化推進会議主催）の公開授業が7月11日、陸上世界選手権400メートル障害銅メダリストの為末大さんを講師に迎え、福岡市の西南学院大で開かれた。「アスリートと言葉」と題した講演や学生らとのトークセッションに、市民ら約400人が耳を傾けた。

講演する為末大さん

読売新聞社が進める21世紀活字文化プロジェクトの一環。為末さんは引退後、アスリートの社会的自立を後押しする社団法人を設立して活動している。読書家としても知られ、「諦める力」「負けを生かす技術」などの著書がある。

スポーツの指導「シンプルな言葉で」

講演で為末さんは、子どもたちにハードル走の跳び方を指導した際、複雑な動作の一つひとつを専門的な用語で説明し、混乱させてしまった失敗談を紹介。「ところが、『ハードルの上のふすまを突き破るように跳ぼう』とシンプルな言葉で教えたらうまくいった。たくさんの情報の中から、ポイントを絞って伝えるのが言葉の大切な役割で、スポーツではとても重要」と語った。

トークセッションに聴き入る聴講者

人を動かす言葉の力

さらに、2001年の陸上世界選手権エドモントン大会で銅メダルを獲得後、陸上400メートル日本記録保持者の高野進さんから、「最近、良い子になってきたね」と小さくまとまってしまっていることを指摘されたエピソードも披露。「高野さんの一言で、走るのが好きだから走っていたはずの自分が、いつの間にか世の中が期待する姿を演じてしまっていることに気づかされた。言葉が持っている大きな力は、人間の認識を変える点にある」と強調した。

学生らの質問に答える為末大さん（中央）

読書の魅力、言葉との出会い

続いて、西南学院大文学部の三宅敦子教授をコーディネーターに、5人の学生とトークセッション。学生から、本が好きな理由を尋ねられた為末さんは、「読書をしていると、自分の中でうまく言葉にすることができないもやもやとした感情が、的確に表現されている言葉と出会うことがある。だから僕は本を読む。言葉の力を信じている」と熱く語った。

（講座の詳報は12月下旬、読売新聞に掲載予定です）

立方体地球への旅

晃華学園 ×日本科学協会

地球が1辺1万キロメートルの立方体だったら環境はどう変化するのか――。ユニークなCG映像を教材とした日本科学協会の出前授業「立方体地球への旅」が7月17日、晃華学園中学校高等学校（東京都調布市）で行われた。気象学が専門の木村龍治・東大名誉教授を講師に、中高生20人と和泉田健治校長らが参加した。

「静止気象衛星ひまわり8号から、地球の昼と夜はどのように見えるのか」

模型セットを使い、木村教授が教室という小さい空間でその様子をスクリーンに映し出すと、「うわ、すっご～い」「昼と夜の仕組みが分かったよ！」と生徒たちはどよめいた。

仕組みは簡単だ。教授が持参したのは、自転するように動く地球儀と、ひまわり8号の視点に見立てた親指サイズの小型ワイヤレスカメラ。カメラは地球儀が回ってもいつも東京の真南を映し出すようにセットされている。

宇宙から見た昼と夜

教室の電気を消して、この地球儀に太陽からの光に見立てたライトを照射すると、地球は回転に応じて、明るく光る部分と暗い影の部分が浮かび、あたかもひまわり8号から地球を見るように見える。スクリーンに映った地球儀は東から白みはじめ、夜明け、昼、そして日没、夜を繰り返した。

教授はひまわり8号からのカラー観測画像も紹介、春と夏では昼と夜の見え方が変わることを解説したあと、違いが生じる理由を質問。それに廣瀬暖菜（ひろせはるな）さん（高1）が「地軸が傾いているから」と答えると、木村教授は「そう、そうなんです。正解」と実に嬉しそうだ。

もしも地球が立方体だったら？

昼と夜、季節変化、大気循環を説明したうえで、木村教授は「地球が球体というのが本質的に重要。でも、その重要性は球を見ているだけでは分かりません」と話し、CG映像「Cubic Earth――もしも地球が立方体だったら――」をスタートさせた。

立方体地球の出前授業で、木村教授（右）に質問する生徒たち

映像は、宇宙飛行士が四角い地球に遭遇して探索する、という想定だ。四角い惑星では、大気のある場所とない場所が生じ、面によって中心部は365気圧・摂氏500度という過酷な環境となる。海の面積は小さくなり、水深は285キロメートルにも達する。木村教授を議長に、地球物理学や惑星科学などの有識者会議が5年かけて徹底的に議論、計算を重ねて製作した仮想地球のモデルだ。

「地球が丸くてよかった」

30分の映像の合間に木村教授は、立方体地球の環境を左右する大きなポイントが重力の作用であること、なぜ海が凸レンズ状に盛り上がっているのかなどを説明した。

2時間の授業が終わると、木村教授は生徒たちに囲まれた。

「立方体地球の台風のメカニズムが分からない」

「プレートはどうなっているのですか」

立方体地球という奇想天外な視点に触発された生徒たちの疑問は尽きることがなく、74歳の気象学者と10代のセッションは1時間半にも及んだ。

最後まで残った4人の生徒たちは「心から地球が丸くてよかった」「地球が絶妙なバランスの上に成り立っていることが分かった」と話していた。

映像は日本科学協会のHPでも公開されている。

● 「Cubic Earth ―もしも地球が立方体だったら―」解説サイト　http://www.jss.or.jp/fukyu/cubicearth/index.html

大阪学芸中 ×セブン-イレブン

コンビニ 地域密着に驚き

学校と企業の交流を図る「読売教育ネットワーク」の出前授業が6月30日、大阪市住吉区の大阪学芸中等教育学校で開かれた。コンビニエンスストア大手のセブン―イレブン・ジャパンの社員2人が講師となり、2年生3クラス約120人が、コンビニの商品などについて学んだ。

同社トレーニング部の千後嘉子さん（29）が、架空の街の地図を使って授業を行った。生徒たちが「コンビニを経営するならどの地域が良いか」「お勧めの商品は何か」などを班ごとに話し合い、「工場地帯は日曜になると人が少ない」「駅前なら常に人が多いので、お弁当やジュースを置いたらどうか」などと活発に意見を交わした。

高齢化や女性の社会進出に伴い、コンビニの役割などが変化してきた経緯や、地域によって品ぞろえが異なることも紹介された。久吉翼君（14）は「コンビニはいつも利用するが、どの店も同じと思っていた。店によって商品や味まで違うと知り驚いた」と話していた。

（この記事は、7月2日付の大阪版に掲載されました）

コンビニの経営などについて、意見を交わす生徒たち

News

第1回新聞検定 ホームページ開設

読売新聞と学研グループ・市進教育グループが協力して、9月12日に実施する「第1回新聞検定」の専用ホームページ（http://www.shimbun-kentei.com/）が開設されました。8月20日まで同HPで、受検申し込みを受け付けています。

この新聞検定は、情報を読み解く「メディア・リテラシー」の向上を目的に、東京、千葉、埼玉、茨城の1都3県で実施されます。読売新聞の記事を読みながら、さまざまな問題を解く新たなスタイルの検定で、新聞から情報を正しく読み解く力、視野を広げてものを見る力、自分の考えを正しく伝える力を問うものです。自分で考える力が求められるネット社会だからこそ必要とされる「メディア・リテラシー」を養う内容になっています。

「初級」（小4～6年生向け、検定時間50分）と、「中級」（中学生以上向け、検定時間50分）の2部門があります。会場は1都3県に限られますが、1都3県以外に住む人も受検できます。検定料は無料。全員に「成績表」が郵送され、成績上位者には、「初級」「中級」の認定証も送られます。また、記念品として全員に、読売KODOMO新聞（11月中旬の一号分）をプレゼントします。問い合わせは新聞検定事務局（☎0570・00・4319）へ。

「中学受験ガイド2016」発行

私立・国公立の中高一貫校受験を目指す児童の保護者に向け「中学受験ガイド2016」（読売新聞教育ネットワーク事務局編）が発行されました。

教育制度変革の時期を迎え、大学入試制度も、2020年度から入試改革が行われる見込みです。2016年版は、そうした時代の変化を見通した特集を満載しています。

恒例の中高一貫校「大学合格実績」は、前年度より5校多い全国340校の実績を掲載。また、独自調査「主要塾の合格者数一覧」では、各塾の合格者数を掲載したうえ、各塾の特性を分析。志望校に最適の塾選びを手助けすることとしました。大学入試改革をにらんだ主要塾の動向もルポしています。

中学受験ガイド2016
A4変型判／124P
価格1,240円（税込）

高校英語教育のための効果的指導法セミナー

TOEICテストの実施運営等を行う一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）は、中学・高校の英語教員向けに、「高校英語教育のための効果的指導法セミナー」を開催します。セミナーでは、協会から「TOEICテスト／TOEIC Bridgeの3つの特徴」を紹介し、授業の効果測定としてのTOEICプログラム活用法をご案内します。

また、英語教員のアドバイザーとして活躍する東京学芸大学名誉教授・金谷憲さんが、日々の授業で使えるヒントを紹介します。

【日時】■名古屋　8月27日（17:00～20:00）　安保ホール3階（名古屋市中村区）
■東　京　8月30日（13:30～16:30）　IIBC大会議室（東京都千代田区）
【定員】いずれも先着申し込み順40人　【申し込み】公式サイトの申し込みフォームから送信するか、school-seminar@toeic.or.jp宛てにメールで送付ください。
【締め切り】名古屋…8月24日17:00、東京…8月25日17:00
【公式サイト】http://www.toeic.or.jp/seminar_event.html

海外で学ぶ・リレーエッセー⑦

豪クイーンズランド大「UQは多様性の喜びを教えてくれる」

東京都立国立高校卒、豪クイーンズランド大学3年
田村聡（さとし）さん

クイーンズランド大学（UQ）について何か書いて欲しいと依頼された時、「多様性」という言葉が頭にふっと浮かびました。学生の5分の1が留学生で、同じ教室で3か国語以上の言語が話されていることも珍しくありません。しかし私が書きたいのは国籍や人種の多様性ではなく、人間性の多様性についてです。この国では、ガリガリのヒッピー風な人とジムで体をムキムキに鍛えた人などあまり相性の良さそうではない人達が会話を楽しんでいます。中でも特に私の視野を広げてくれた出会いは、男や女などの性を超えた存在になりたいと、男性ホルモンを注入している、元女性であり、現在はどちらでもない人との出会いです。UQは自分らしさを自由に表現できる場所です。

私が自分らしさを表現する機会は、課題が南極海における捕鯨だった時に訪れました。2013年は捕鯨賛成派と反捕鯨派の対立がいつになく高まった年で、私の学部である環境マネージメントは反捕鯨派の学生達に人気でした。

厳しいバッシングを予期していましたが、他学生が私にそのことで偏見を持って接してきたことはなかったです。それどころか、日本人であることが有利に働き、日本の捕鯨文化について何度も尋ねられました。議論は常にお互いに敬意を払われながら行われました。皮肉にも、日豪を隔てた捕鯨問題が私と他学生を繋（つな）いでくれました。

UQには多岐にわたった興味深いクラブが多く、中でも私が入らずにはいられなかったクラブは「UQハリーポッター同盟」です。そのクラブでは、映画「ハリーポッター」（J・K・ローリング原作）に見られたように、空飛ぶ箒（ほうき）に乗って行う球技「クィディッチ」を実際に行うのです。もちろん、空は飛べないので地面を箒に乗って走り回るのですが。そのクラブは近くの3大学とリーグを組織していて、各大学は映画のホグワーツ魔法魔術学校の4つの寮のうち一つを割り当てられています。UQは知性と知識に富んだレイブンクロー寮です。

この種目でおもしろいのが、試合を左右するボール「スニッチ」を担当する人が全身を金色のストッキングで、「スニッチ」を捕まえようとする「シーカー」から逃げるために汗だくでグラウンドを走り回るところです。UQはどのような形であれ、自分らしさを自由に表現できるのです。

（会報編集部抄訳）

The Japan News 2015年2月26日）

ブリスベンシティー植物園で、田村聡さん（本人提供）

海外留学を目指す高校生に進学支援を行っている NPO 法人「留学フェローシップ」のメンバーが、海外のキャンパスライフをリレー連載します。留学フェローシップの詳細はウェブサイト（http://ryu-fellow.org）へ。

英語の原文は http://the-japan-news.com/news/article/0002159796 でお読みいただけます。

News

「工学フォーラム 2015」参加校募集

国立大学54工学系学部長会議と読売新聞社は「未来への挑戦！ ― 夢をカタチにする工学 ―」をテーマに、「工学フォーラム 2015」を11月22日（日）、東京海洋大学越中島キャンパスで開催します。フォーラムでは「未来の生活を拓く理科研究」をテーマに高校生・高専生の皆さんに口頭発表・ポスターセッションをしていただくコーナーがあり、このパートの参加者を募集します。

フォーラム当日はタレントの中川翔子さんも登場してのディスカッションや、参加大学による個別授業などが催されます。また、12月に読売新聞全国版朝刊に当日の模様や研究テーマ、学校名などが掲載されます。

詳細は公式サイト＜http://www.yomiuri.co.jp/adv/kougaku2015/＞を参照してください。問い合わせは事務局（☎03・6433・5603）へ。

【応募資格】全国の高校生、高専生（3年まで）
※指導教員の下で、学校単位の応募となります。
※1校で複数チームの応募もできますが、口頭発表は1校1チームのみとなります。
【応募方法】公式サイトから、応募フォーマットをダウンロードして必要事項を書き込み、応募専用のメールアドレス（kougaku@yomiuri.com）宛てに送付ください。
【締め切り】9月18日（金）
【選抜結果】発表校は国立大学54工学系学部の学部長が、①ユニークな視点があるか、②研究手法、過程に創意工夫があるか、③他の研究に及ぼすインパクトがあるか――などの基準に基づき審査、選抜します。選抜結果は、指導教員に対して10月中旬に事務局から連絡いたします。

読売中高生新聞

読売中高生新聞 世界新聞協会賞受賞

読売中高生新聞が、世界新聞・ニュース発行者協会（WAN-IFRA）の2015年「世界青少年読者賞」の編集部門で、最高賞を受賞しました。

興味や関心の対象が多岐にわたる中高生に向けたこれまでに例のない新聞を創刊したことが認められました。投稿ページと連動した専用アプリを開発、中高生向けに安全なネット環境を作り、アンケートなどを展開していることも評価されました。

授賞式は、9月3日にインドのムンバイで予定されています。

世界新聞・ニュース発行者協会は、世界最大の新聞社団体で120か国以上の約3000社が加盟しています。

世界青少年読者賞は、25歳以下の新聞読者の拡大につながる取り組みを同協会が表彰するものです。

なお、読売KODOMO新聞も、創刊年の2011年に世界青少年読者賞の編集部門で、審査委員会栄誉賞を受賞しています。

読売中高生新聞は、2014年11月に創刊しました。24ページのタブロイド判オールカラー。毎週金曜日発行で月額780円（税込み）です。

全国高等学校ビブリオバトル 2015

県大会開幕 8月からブロック大会も

来年1月10日 よみうり大手町ホールで決勝大会

高校生が愛読書について熱弁を振るう「全国高校ビブリオバトル2015」が開幕しました。7月19日には全国のトップを切って広島修道大学で広島県大会が行われ、呉高等専門学校3年の宮里昴成さんがチャンプ本を獲得、決勝大会（全国大会）へのキップをつかみました。

決勝大会は来年1月10日、東京・大手町のよみうり大手町ホールで開催されます。ゲストは、明治大学教授の斎藤孝さん、直木賞作家の辻村深月さんを予定しています。

今年1月11日に開かれたビブリオバトルの様子

【応募方法】学校長推薦、もしくは各校で校内予選を実施し代表を決定、❶出場希望の大会名 ❷学校名、学年 ❸発表者（ふりがな）❹紹介する本、著者、出版社 ❺担当教諭または司書 ❻電話番号を明記しファクスかメールで申し込んでください。発表者の決定が遅くなる場合、高校名だけの仮エントリーもできます。観戦申し込みも同様。

【送付先】読売新聞 東京本社 活字文化推進会議事務局
ファクス…03・3217・4309　メール…bib@yomiuri.com

【問い合わせ】同事務局☎03・3217・1486（平日10：00～17：00）

ブロック大会

大会名	対象都道府県	日　程	場　所
北海道	北海道	8月16日	北海道大学
東　北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	9月　6日	東北大学カタールサイエンスキャンパス
関東・甲信越	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・長野	11月23日	よみうり大手町ホール
東　海	岐阜・静岡・愛知・三重	9月20日	椙山女学園大学
北　陸	富山・石川・福井	8月23日	読売新聞北陸支社
関　西	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	12月　6日	立命館大学大阪いばらきキャンパス
四　国	徳島・香川・愛媛・高知	10月　4日	アルファあなぶきホール
中　国	鳥取・島根・岡山・広島	8月　1日	岡山県立大学
北部九州・山口	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・山口	11月　8日	西南学院大学
南九州	宮崎・鹿児島・沖縄	9月27日	宮崎大学木花キャンパス

都府県大会

東京都、大阪府、広島県、埼玉県、三重県、和歌山県、愛媛県、熊本県など